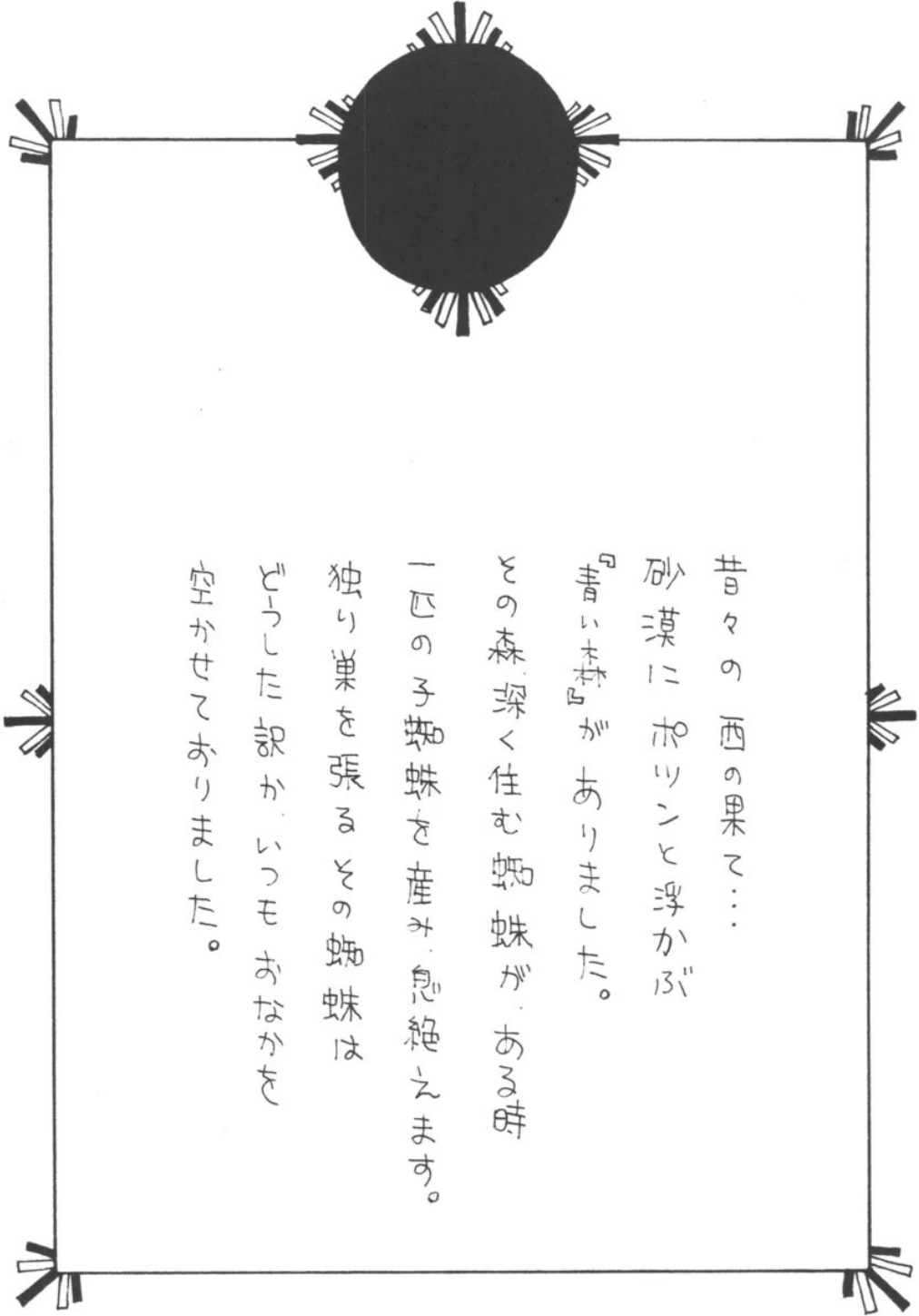


青の森、蜘蛛と蝶



青の森、蜘蛛と蝶





昔々の西の果て…

砂漠にホリコと浮かぶ

『昔の森』がありました。

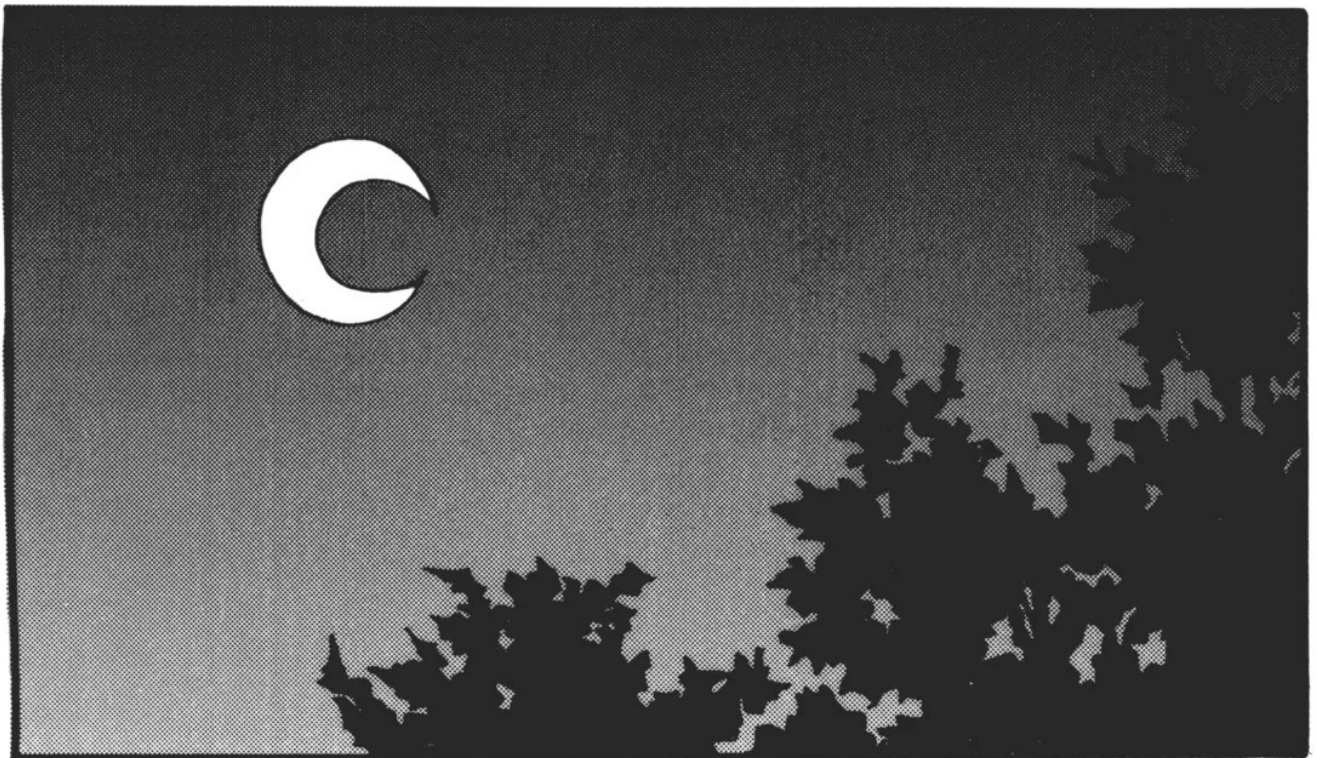
その森深く住む蜘蛛がある時

一匹の子蜘蛛を産み息絶えます。

独り巣を張るその蜘蛛は

じっとした顔からいつもおなかを

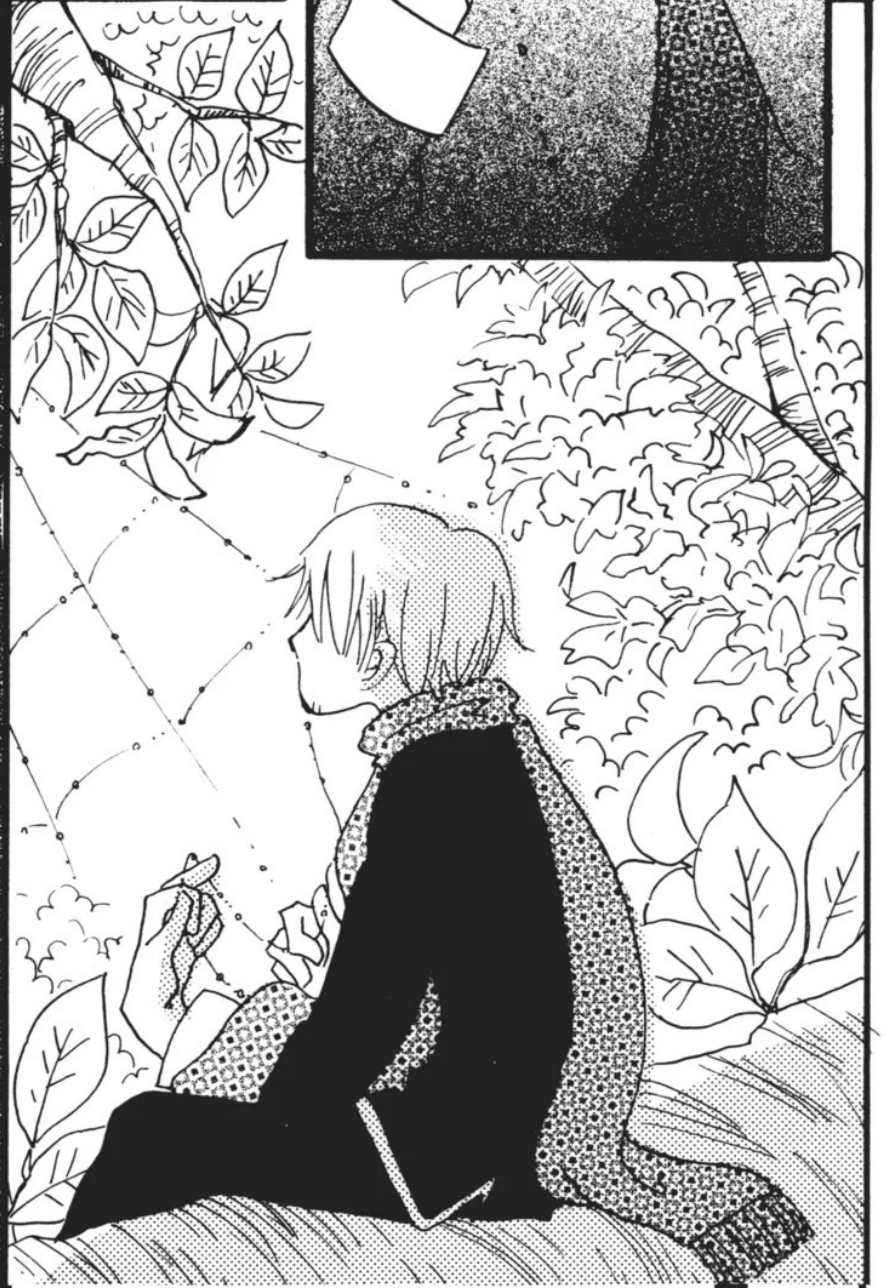
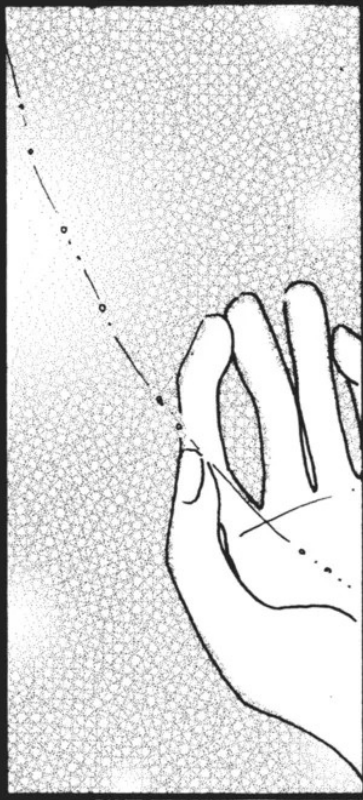
かきかきまわりました。



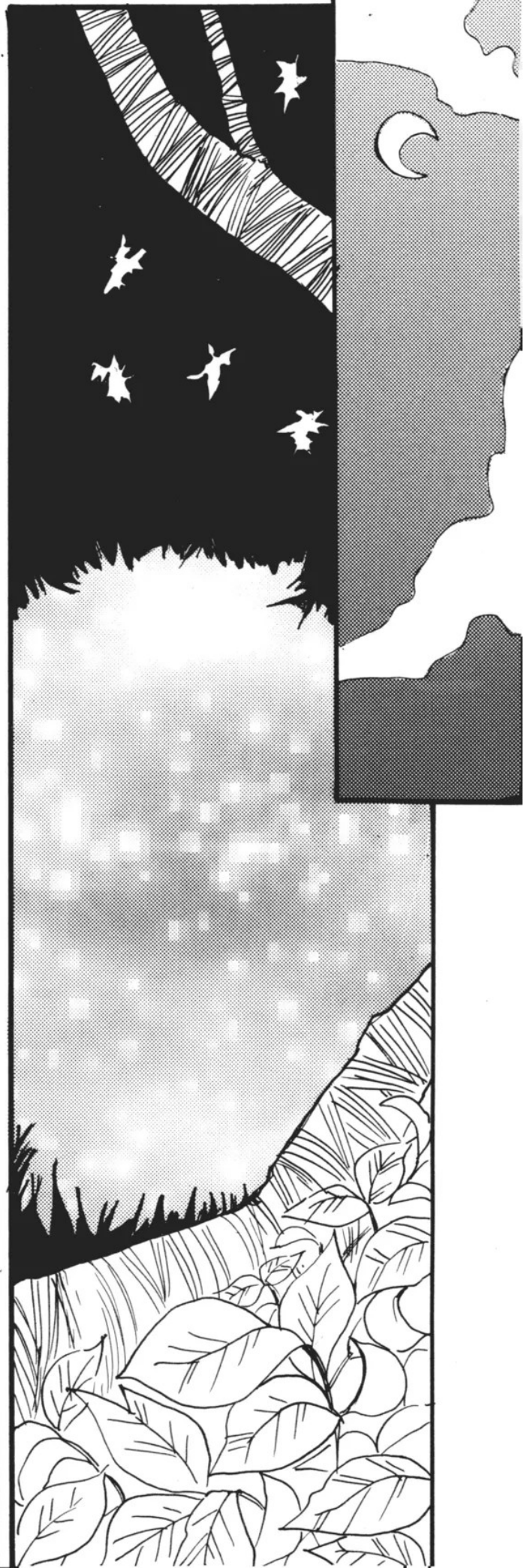


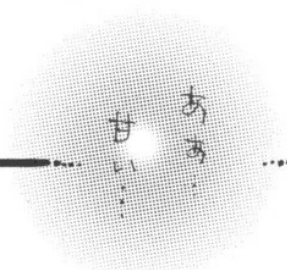
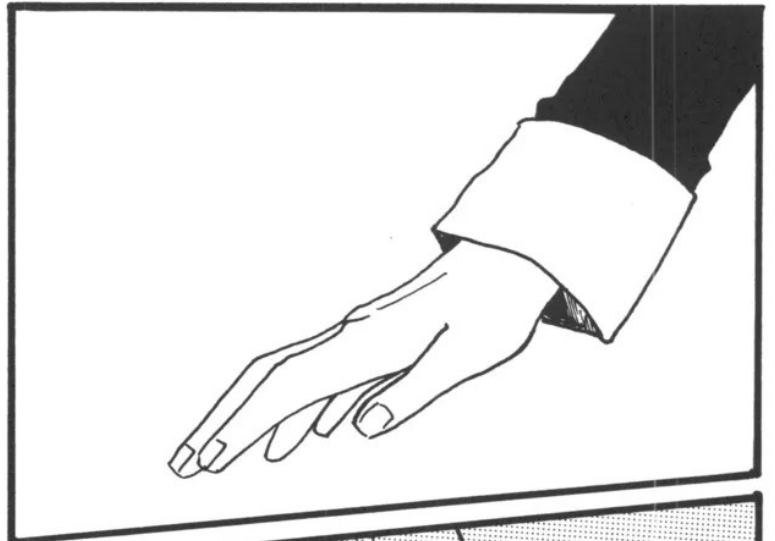


明日も  
何もかかりません  
ように……









甘い甘い  
おいしいぞう  
ふわふわ  
やわらか...



生まれたばかりの僕



甘い甘い  
おいしい  
ふわふわ  
やわらか  
夢中で  
食べた



この甘サ...  
なべて幸せ





ねえ……  
「エサ」は「メス」が  
一番甘くて  
わあらかいの……

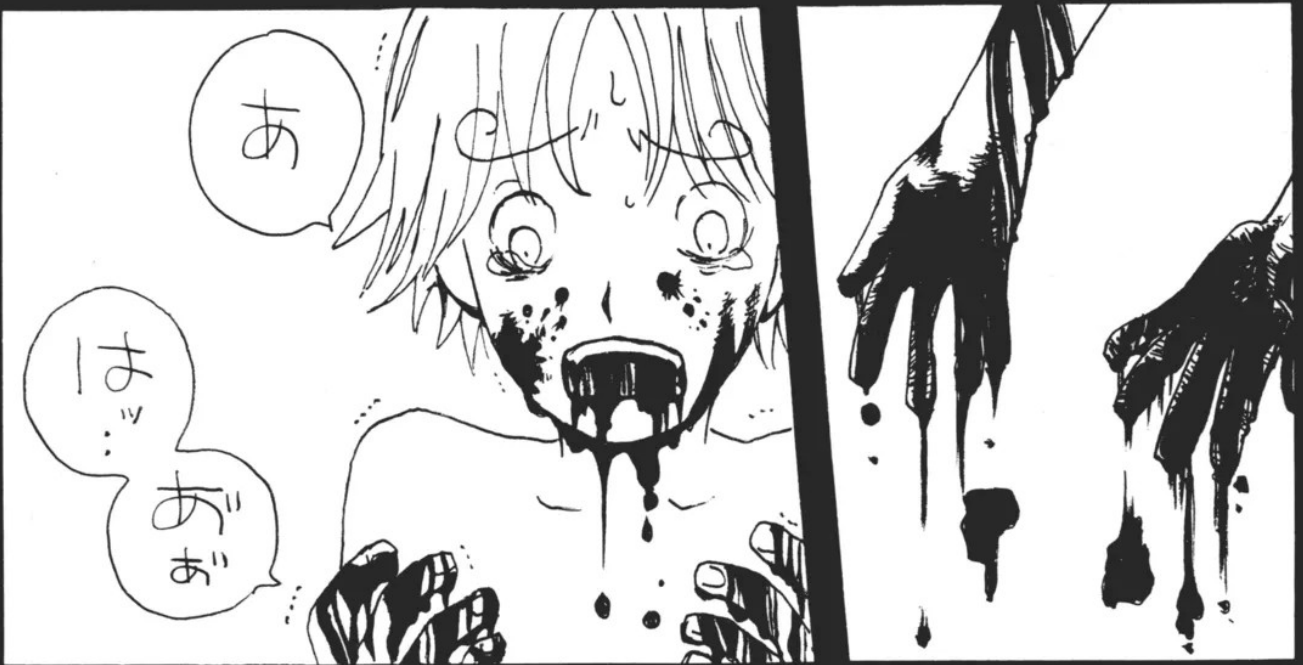
ああ……坊や  
あんたが  
初めてくちにした  
「女」は私……



どお？  
「これ」が  
「女」の味  
私の願い



すあ…  
早く  
つづき…を



かわい  
坊や  
私  
の子…

+

+

+

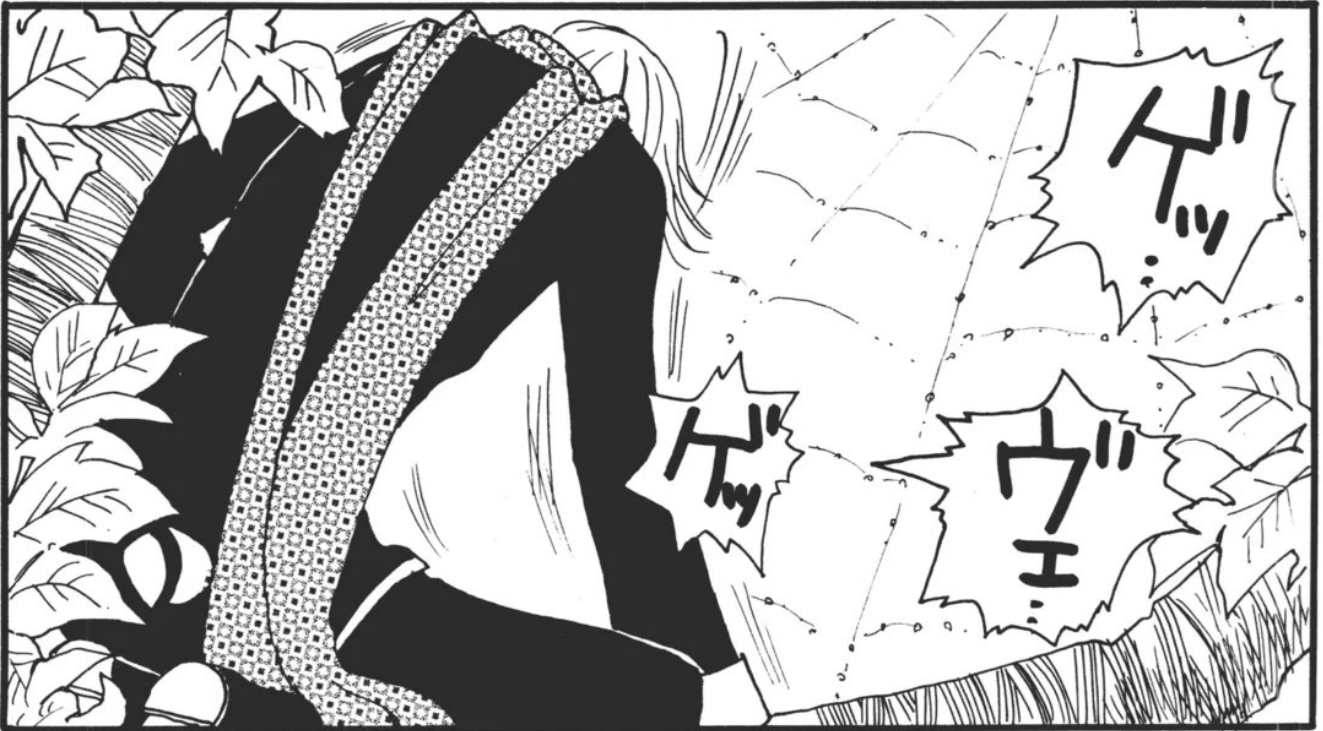
+

+

+

+

+



あれ以来  
甘いモノしか  
くちに出さない

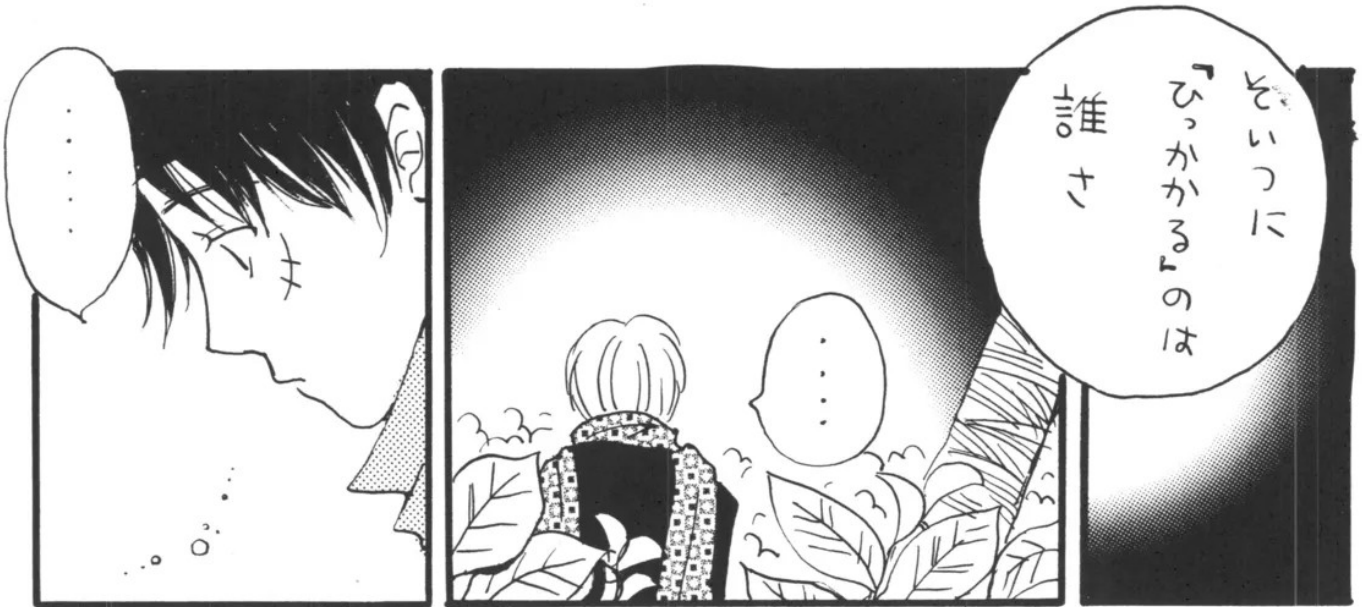
——けどそれは…

あなたと同じ…



よお！  
かせっぼち！！  
また吐いたんか？







いるだろうが  
俺の目の前に...



そりゃ  
そいつが  
ママケなッだー  
お前は良し!!

目の前って  
言わなかったかッ

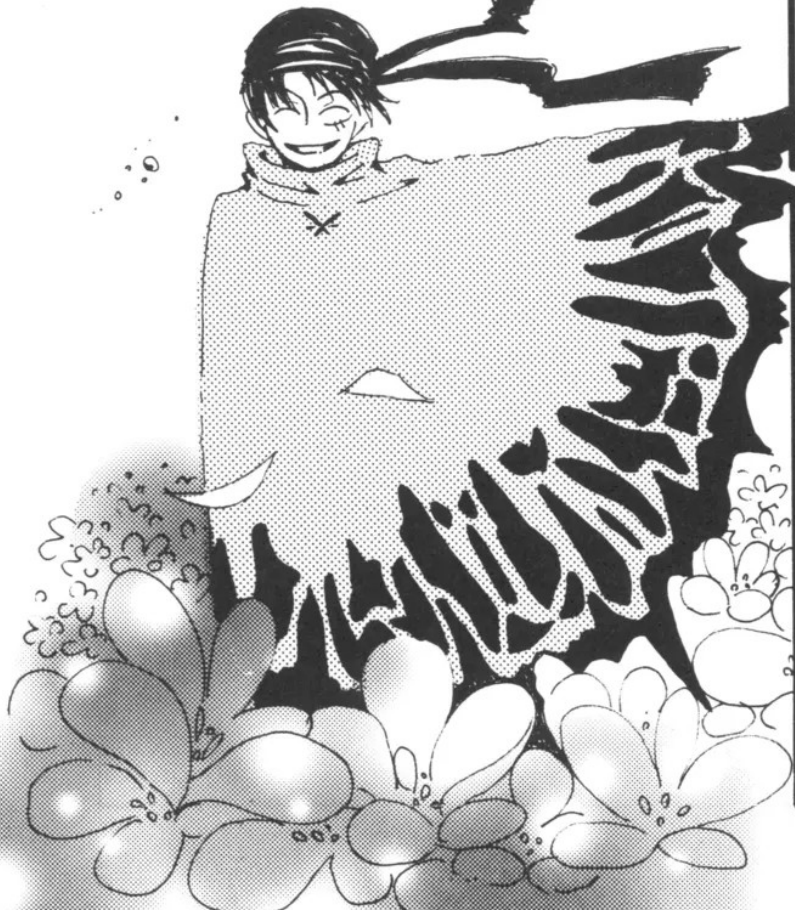
OK!



あにかろさず  
無茶言な...

時々  
この森にサレノ...

こいつは  
旅する  
蝶だ







竜神か精霊か…  
何かが見え住んでる  
かのようなブルー

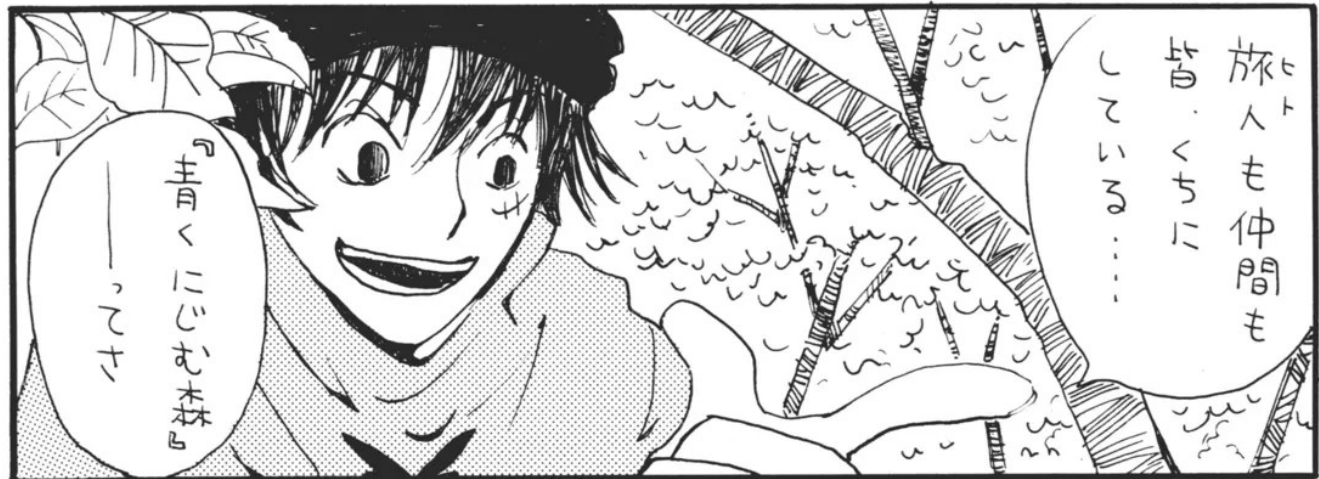


空から  
この木林を  
見た事が？

あるよ  
ないだろ！！



この砂漠の上に  
ホッと浮かぶ  
木林の色は有名だよ



『青くにじむ木林』  
——ってナ

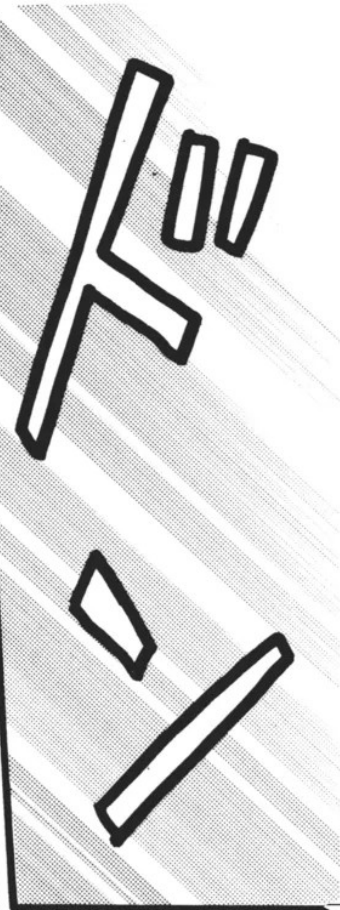
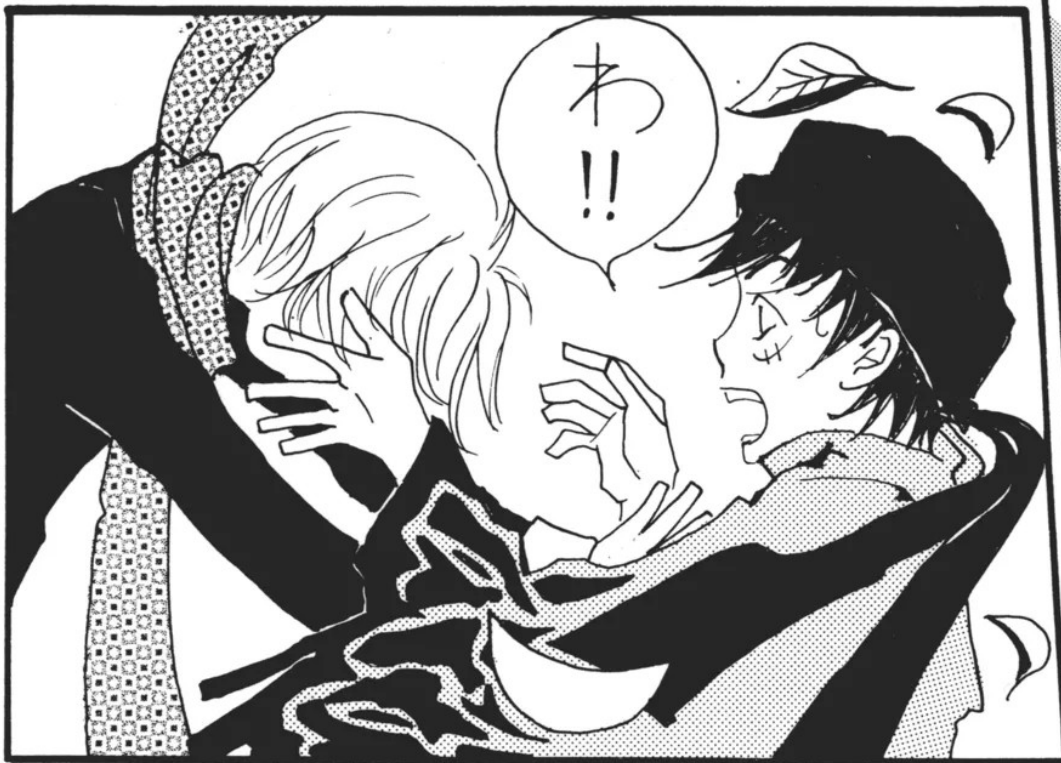
旅人も仲間も  
皆くちに  
している……



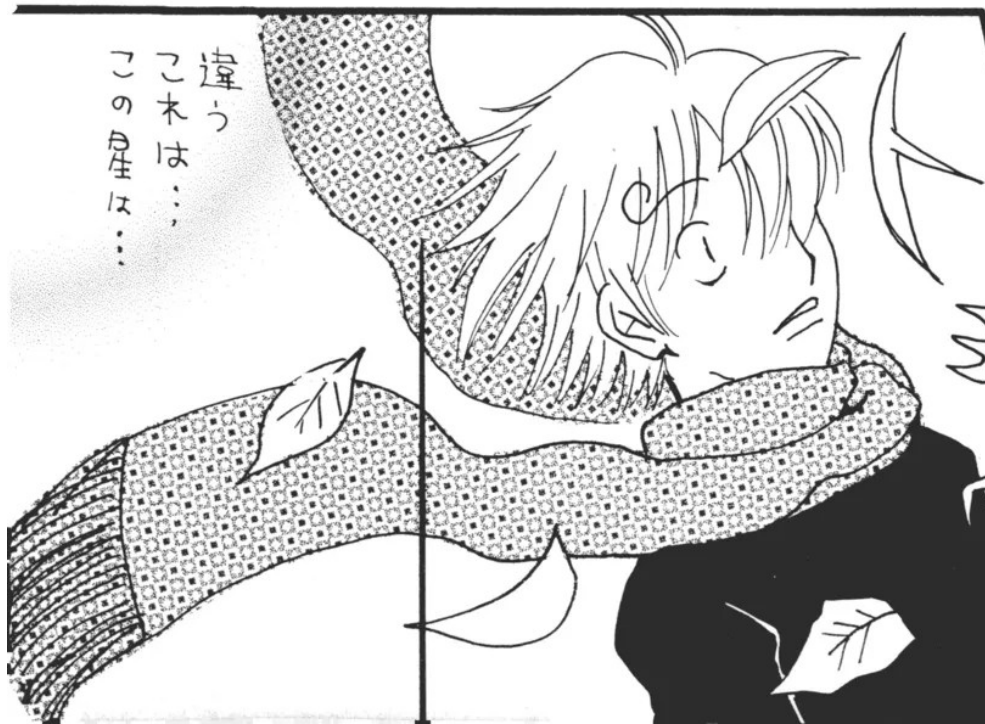
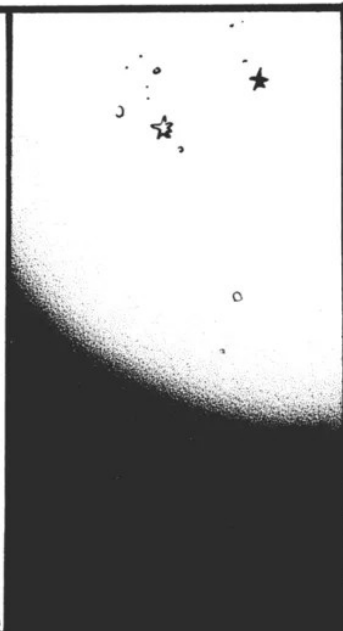
好きじゃない  
色だな……  
でも  
そうか、昔が？  
——知らなかったな

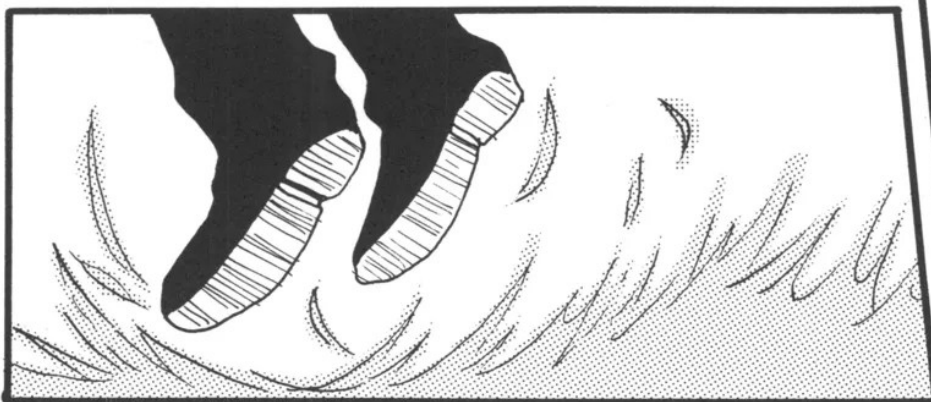
ブルー  
憂鬱？











アコガレた羽根



星の粉  
遠い昔見た



母の半身を  
喰らってしまった  
蜘蛛の子は  
毎日泣いて  
暮らしてあります

七の夜 涙して  
八の夜 誓います



僕はクモだけれど  
一生を誰かの為  
に巣をはろう...



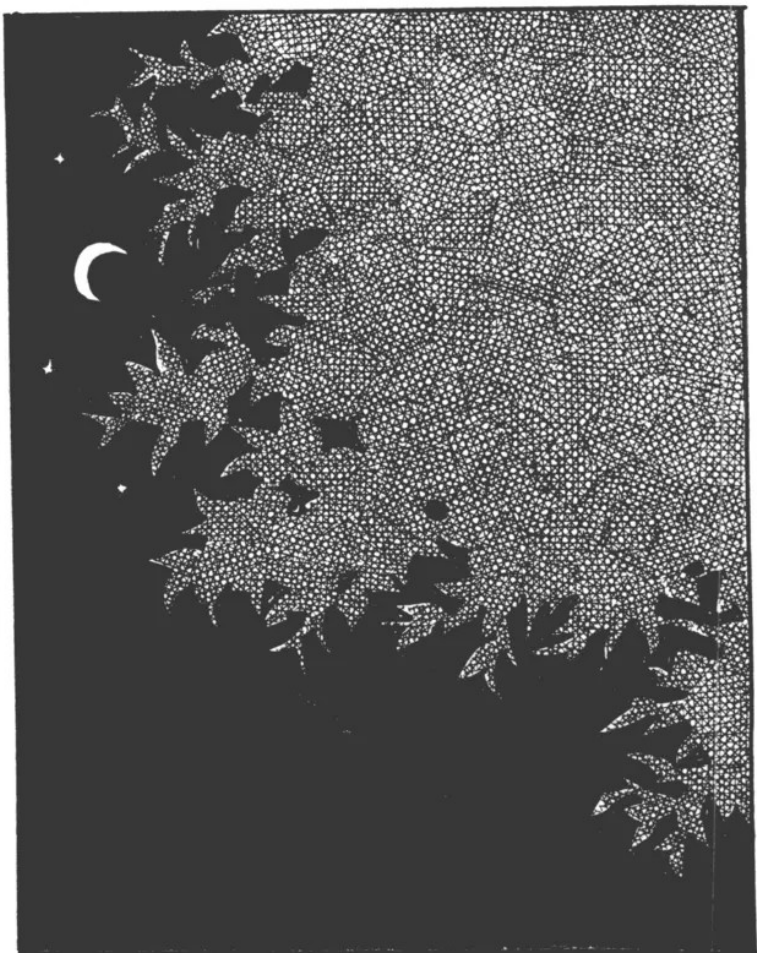
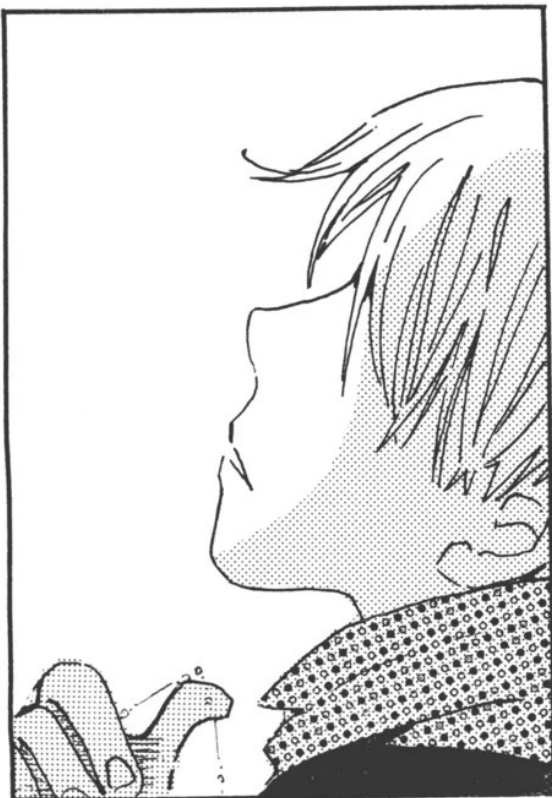
目覚めかり...

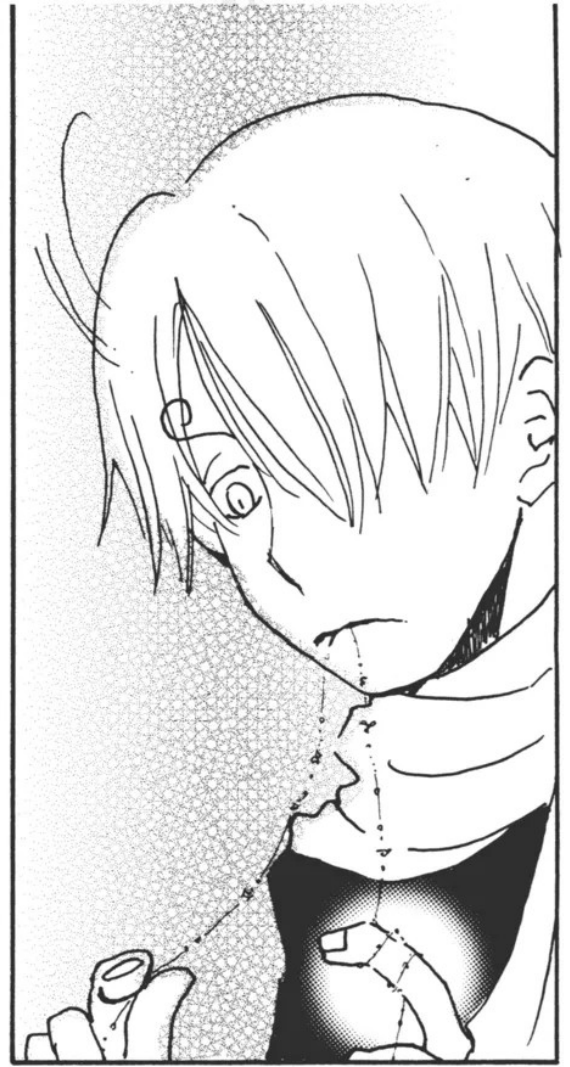


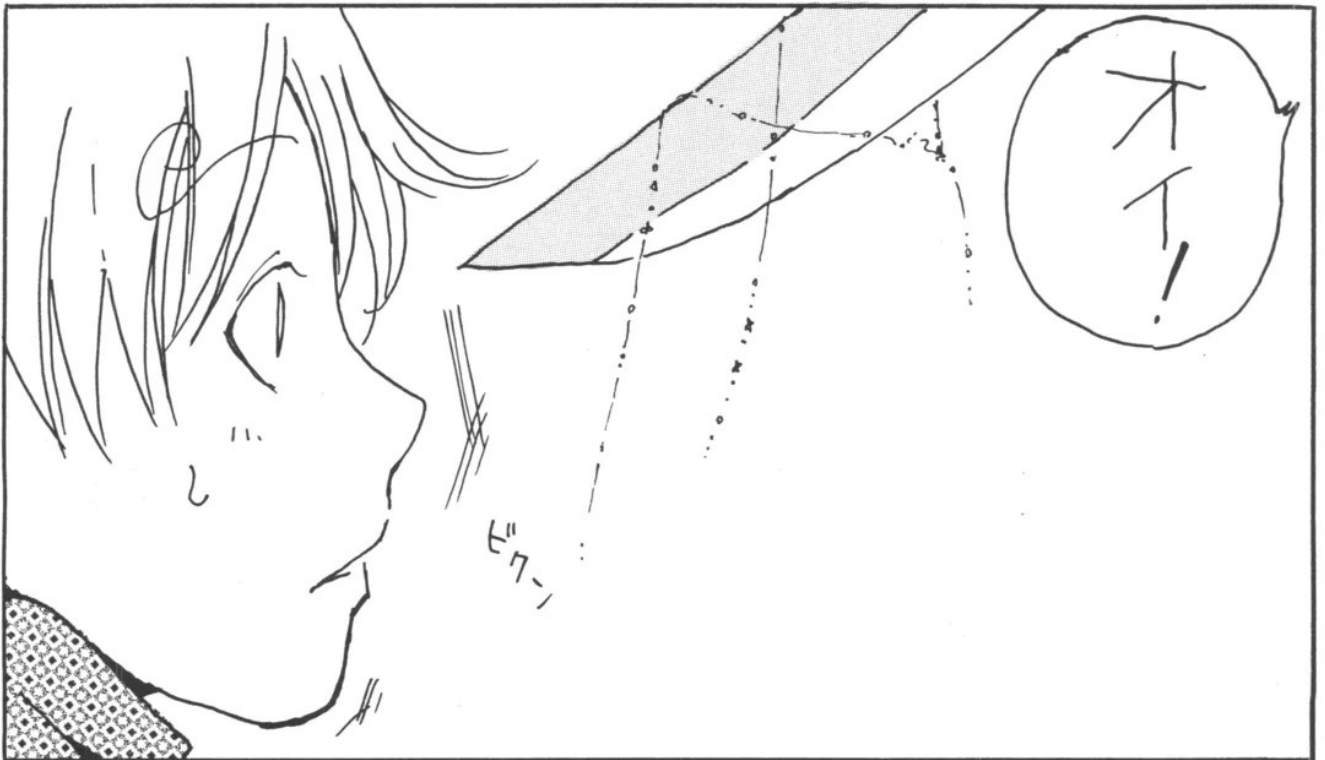
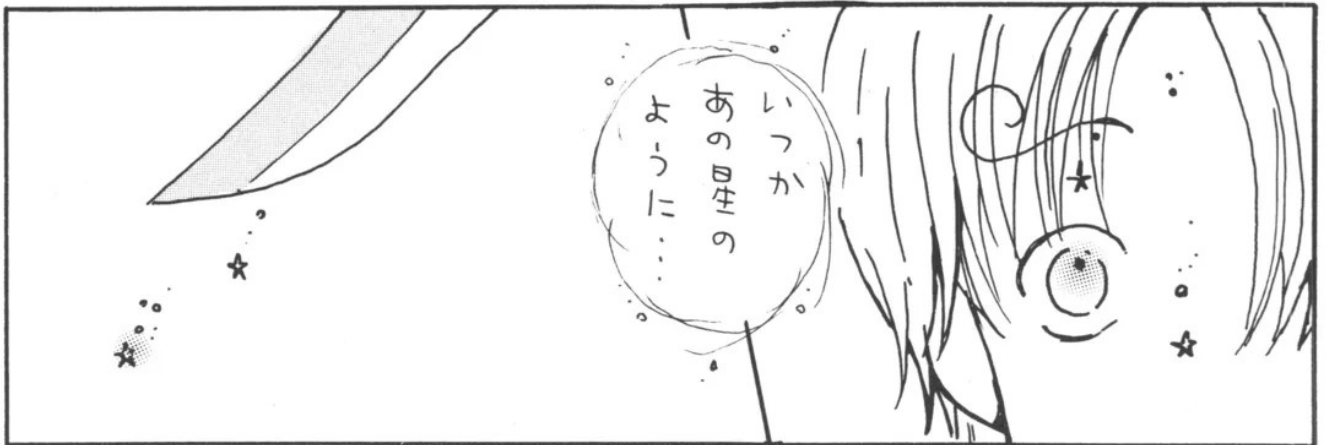


いつか……  
「この星のまじりだとして  
言うてもらえるような  
糸を紡ごう……」

☆ ☆ ☆ ☆ ☆  
そうすれば、きっと神サマは僕を許してくれる……?  
☆ ☆ ☆ ☆ ☆

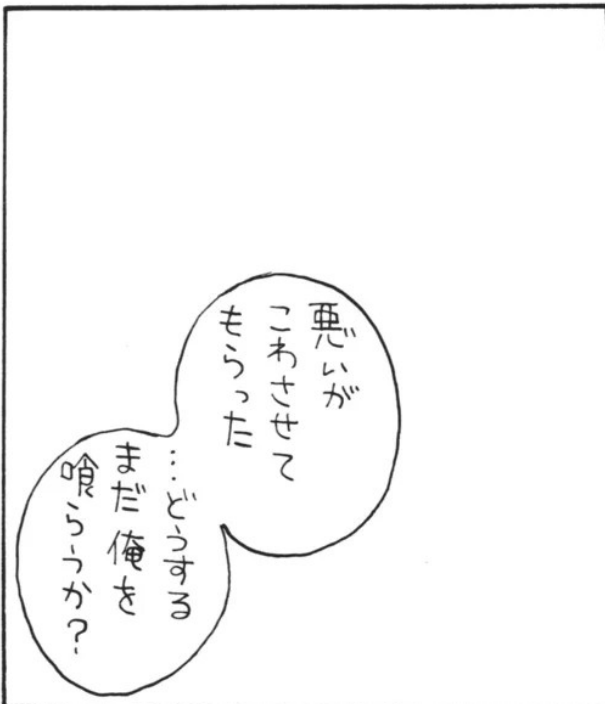








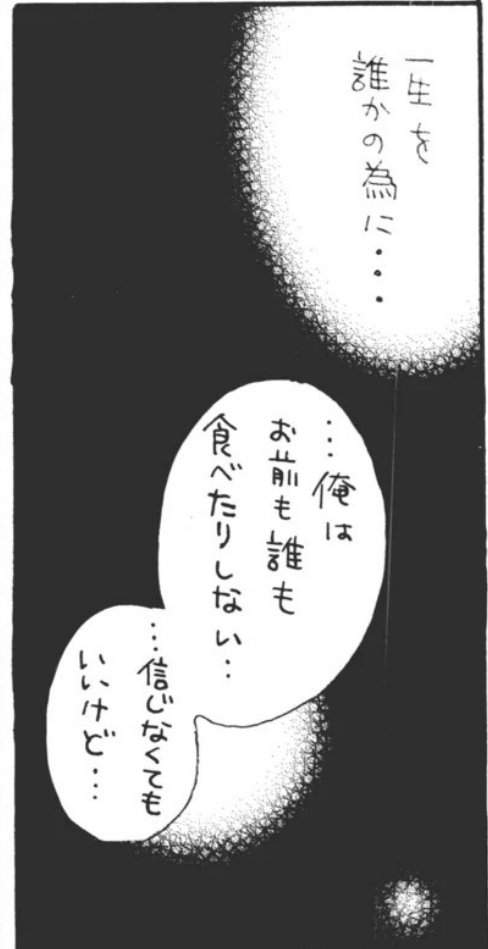
あ？  
もしかして  
お上臈が来たって？



悪いが  
こおらせて  
もらった

……どうする  
まだ俺を  
脅していいか？



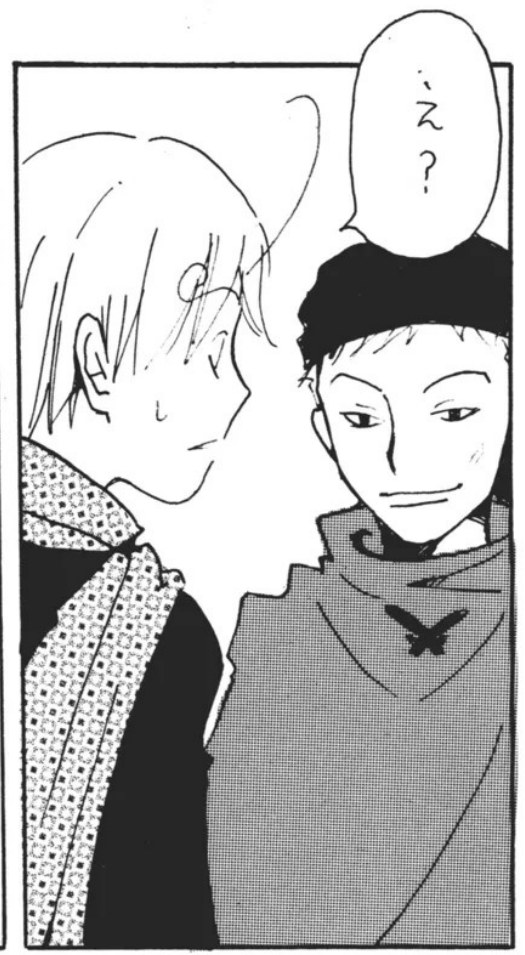




一つキキりたい...

誰も食へないのに  
なぜ糸を...

おかげで  
お上前の菓子を  
こぼしてしました



え？



...  
糸を張るのは  
俺の仕事...  
とそれだけだ

お上前が  
助かたのなら  
とれでいい

菓子の事は  
気にしないでくれ



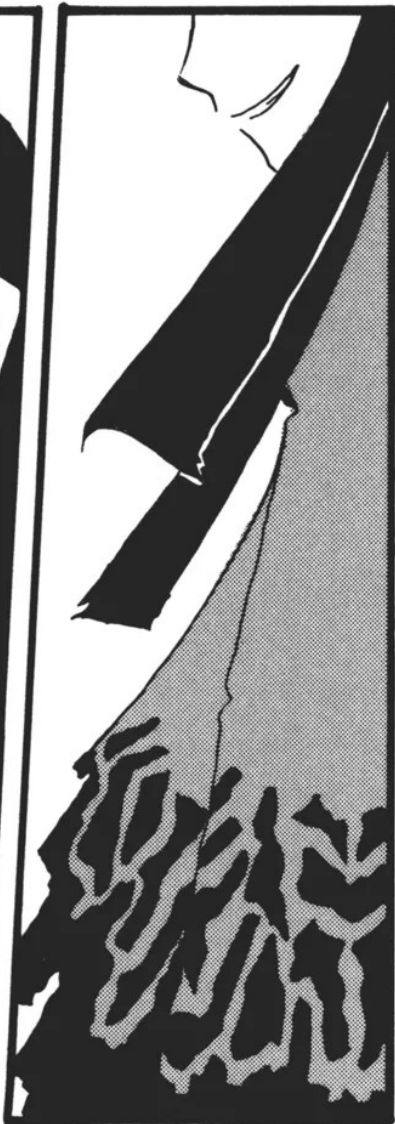
なぜと  
切ったのだから  
気にしない

俺はお上前のような  
血肉を喰らって  
生きる「蜘蛛」がただ  
キライなだけだ





なら俺も  
真実も？



なんだコイツ  
頭にくる…ふ

ボロも何もない  
ほんまの事だ  
ムカ



この細ナ…  
キラメキ？  
—どうせまご…

この糸は  
何だ？

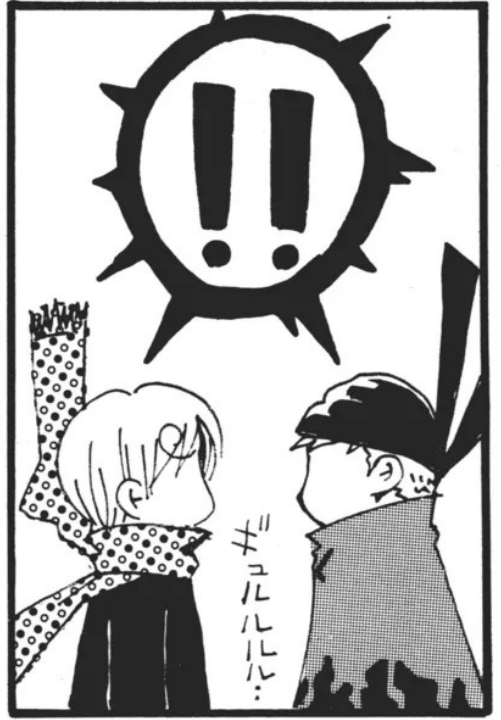
…初めて  
切る事を迷った

お前の言う通り  
俺がお前らを  
嫌いなのは本当。  
—だが今宵の俺は？



…まご？





変な蝶は  
言いまして  
逃げないナ  
だって俺は  
闘う蝶だから  
蜘蛛は初めて  
おしべりしました



「じゃあ俺も 『生まれつき』」

「それよりな、だあ 甘い物と『骸』がダメな ずいぶん 軟弱だな」



そのマギ...

まあな...  
でも嫌いじゃ  
ねえよ?

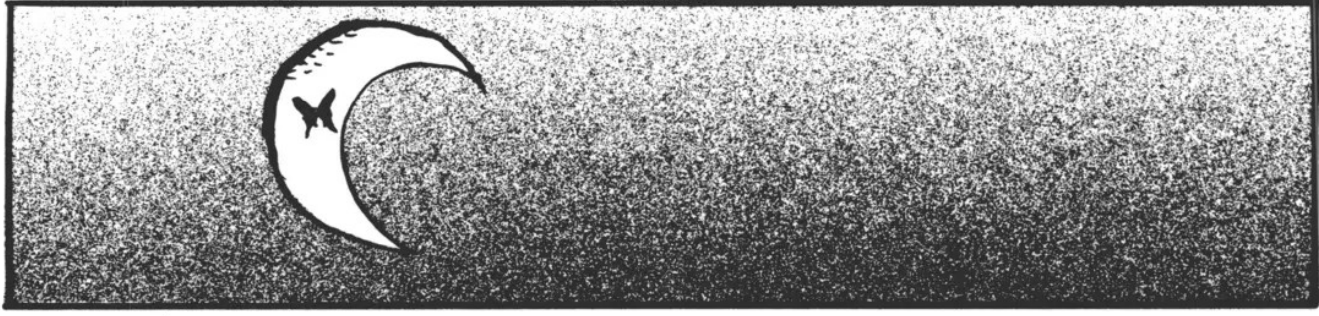
その不正な羽根  
から生まれた  
のは黒の粉・青の  
粉蜘蛛の心に  
残された

なんだよ...  
誤わかんねエ

そのマギ  
生まれてきか...  
しかも  
この森で  
その羽...

三日月の夜ただ一度  
森に降りた「闘う蝶」は  
「生まれっきの羽根で  
器用に  
飛び立ちました

その不正な羽根  
から生まれたのは  
黒の粉・青の粉  
蜘蛛の心に  
残された  
灯に似た星でした







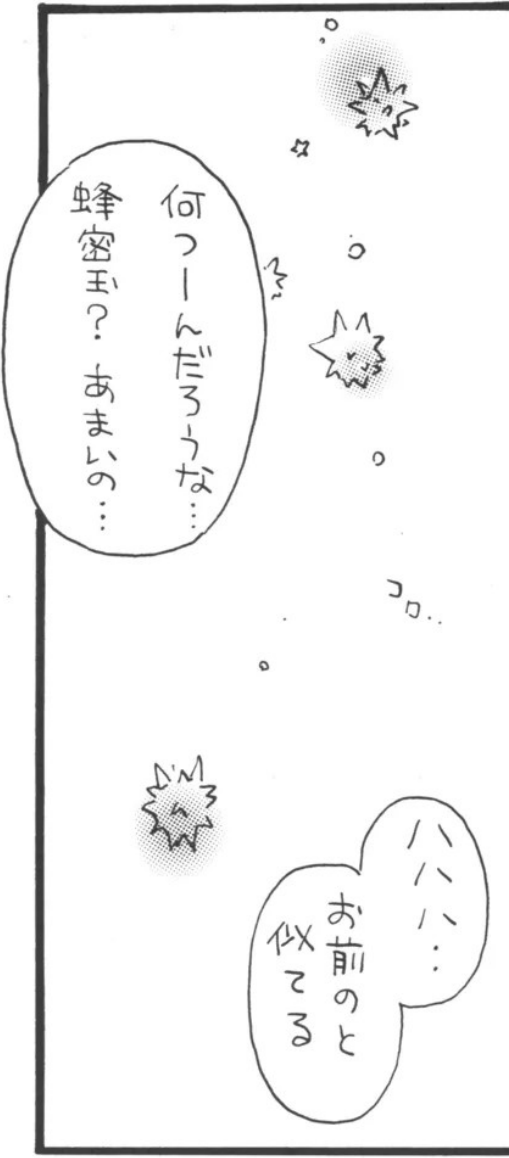
黒の粉  
白の粉



あれから  
何年たったよ

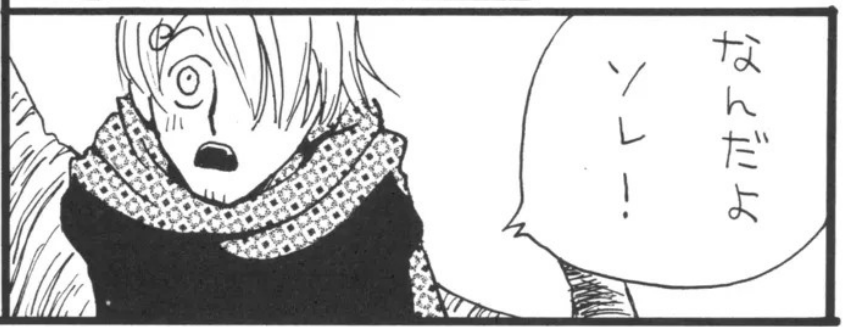


でもホラ!  
見つけたぜ?  
—甘ったれ!!

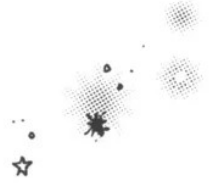


何って...  
蜂蜜玉?...  
あまの...

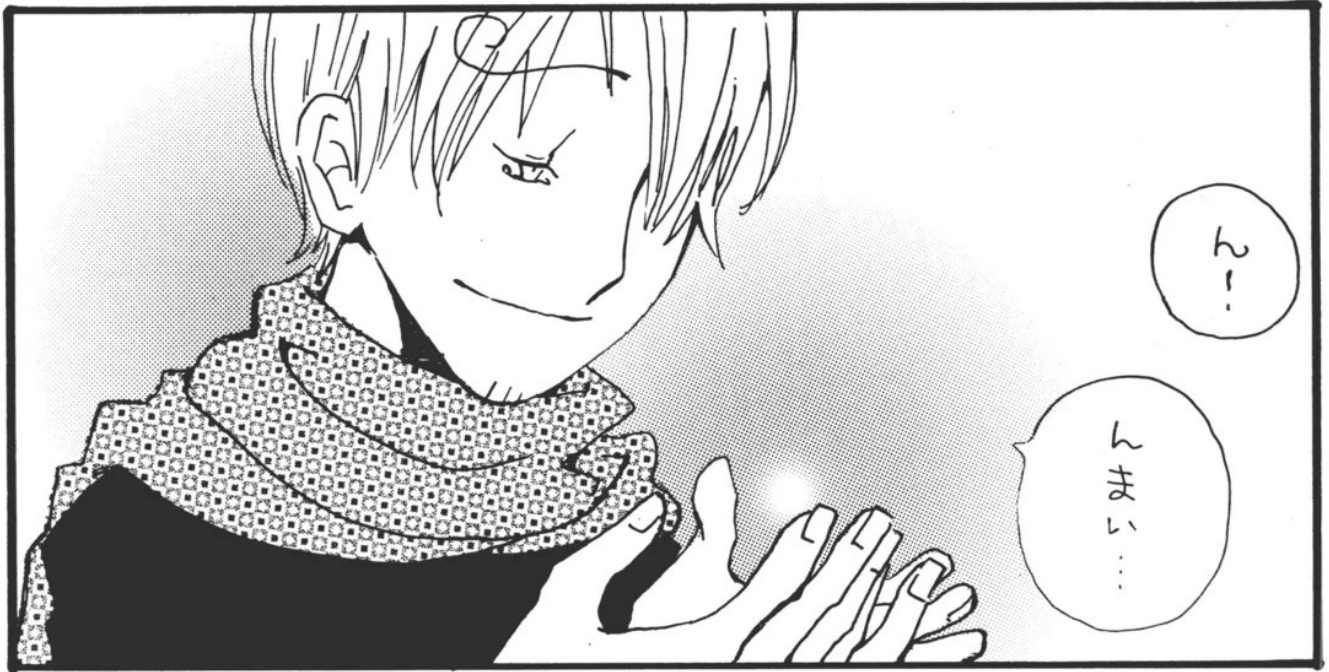
ハハハ...  
お前のと  
似てる



なにだよ  
ソレ!



ああ... きっと あなたが くれたものは...  
そして 僕が 欲しかったものは...





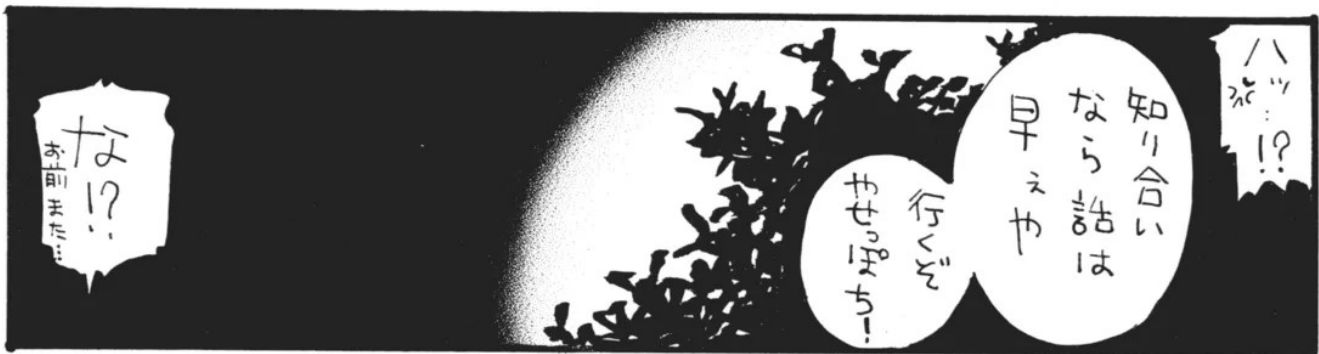
遅えぞ!  
ハッ!!



なかば  
無理カリ



なんだ...  
仲間でお前?



なに?  
お前また...

知り合いら  
なら話は  
早えや  
行くぞ  
かせいぞち!

ハッ!!?



なに?  
「ゴレ」も  
知らなかった?



お前なら  
つくれんたろ?  
—— 羽根

「情熱」を  
かくなみ?...  
体に出てるぞ



『主月の木林のどく  
灯火のサテ  
もじこの呼び名』

その田一  
知ってるか？  
殺した感情の色が  
膜様にならだせっ

とっさって  
アタシする位なら  
飛ぶ！！  
カミロロ、どくどく？



気流にのって  
どこまでも  
とぶ鳥がいる



お前も  
乗ればいい



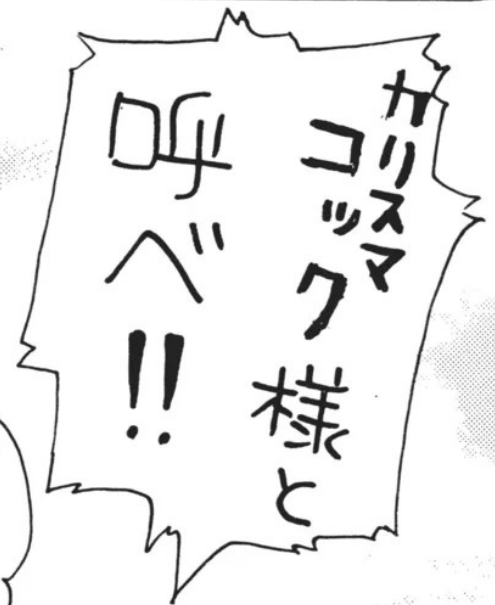
その  
星のような  
糸を紡いで...

ああ 神様 星あかり... 僕は飛ぼう

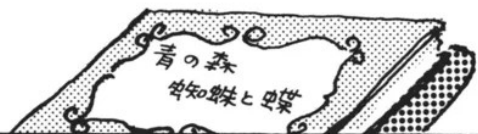
青の木の蜘蛛は  
初めて自分の為  
糸を紡ぎました  
そして蝶の為に二つの  
ハンモックを作りました  
ある強き風の吹く夜に  
一匹の蜘蛛と  
二匹の蝶が風にのり  
空高く飛び立ちました







◎ ENDE ◎



OYAJITS  
F A N



ジョー...

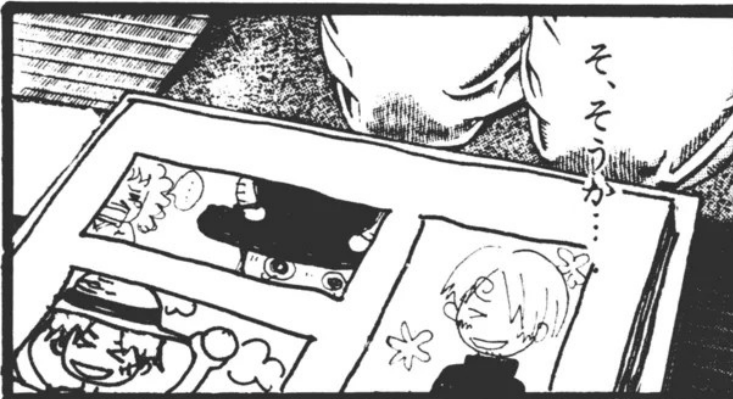


ニネモ...



お父さんは、とうとうサンちゃんの親父にもなったんやなあ...

《大阪府 池田 兄》



■この物語はフィクションです。取材に基づいて作画しておりますが、実在の団体・人物とは一切関係ありません。



募 おたよりの集

この作品に関するご意見、ご感想を募集しております。この欄で採用させていただいた方には、オヤジ特製カードを差し上げます。〒362 埼玉県上尾市中幸1-14-13 内田有里「シニア館ビジュアルコミックオヤジツ OYAJITS FAN」係まで。



なぜ死んだ!!

なぜ月野ハナ、

死んだ!!

あと10筆

文字通り

入稿をすませることが

できたのに

神よ...

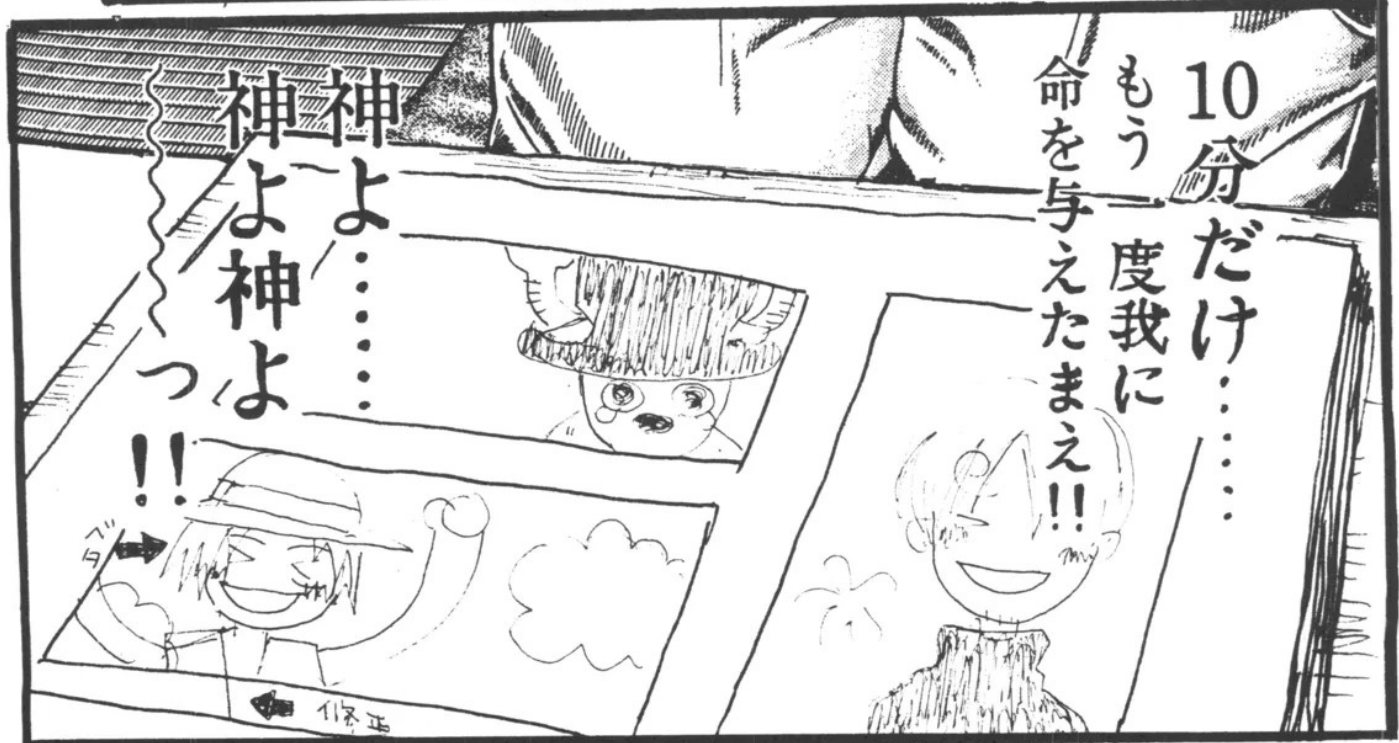
神よ神よ... 神よ、

我にもう一度

命を与えたまえ。

10分がいい、

10分じゃ!!



10分だけ...

もう一度我に

命を与えたまえ!!

神よ...

神よ神よ

!!

修正



蘇生入稿

# 青の森、蜘蛛と蝶

BEGONIA GARDEN

11th. Aug. 2000  
Hana Tsukino  
Presents

〒362-0072 埼玉県上尾市中妻1-14-13  
内田有里《月野ハナ》

★次回ありましたら、またお逢いしたいです

前へ戻る



コメント? ★ 言いたい事は山ほどありますが、時間切れです。今、どんな話描いたのか記憶なし...。とにかく、色々ありがとうございます。みなさまへ♡

